

千葉市内で発見された化学弾の可能性が高い砲弾の無害化処理等についての
住民説明会（第1回）質疑応答概要

1.開催日時 平成22年12月19日（日）14:00～15:40

2.開催場所 フクダ電子アリーナ 控え室1・2（記者会見室）

3.参加者

（千葉市住民等）45名

（千葉市の事案に関する現地連絡協議会）環境省、千葉県、千葉市、四街道市

4.概要

環境省から配付資料に基づいてパワーポイントによる説明を行い（25分程度）その後、質疑応答（60分程度）が行われました。質疑応答の概要は以下のとおりです。

：環境影響評価が必要になると思うがどうか。

法律上の環境影響評価対象施設ではありませんが、環境影響に配慮して取り組みます。なお、排ガスについてはこのレベルまで無害化するという条件をつけて請負業者と契約します。

：事故が起きて排気浄化装置等が正常に作動しなかった場合はどうなるのか。

安全性の確保に万全を期すよう、仕様書に明記し、請負業者を指導します。また、非常の対応も含めた作業手順を整備して、万一の際にも適切に対応できるようにします。

：今回の住民説明会の開催に関するお知らせが遅いし、周知が徹底していないように感じる。また、本来であればまず千葉市町内自治会に話を持って行くべきではないか。

開催案内から1週間程度で住民説明会の開催と極めてタイトなスケジュールであったことは承知しています。また、開催案内から時間がない中で周知するため、蘇我周辺の自治会を対象とさせていただき、その他についてはホームページ上で案内させていただきました。今後は周知する自治会の範囲を見直したりするなど、住民の皆様幅広く情報が伝わるようにしたいと思います。

今回の周知範囲については、処理場所から最も近い自治会として、線路から海側の自治会を対象としました。

：無害化処理施設設置用地の隣接事業者に対し、土地を使いたいと言ったのはいつか。区連協の会長には事前に説明しておいてもよかったのでは。その打合せを始めた最初の書類があれば公開してほしい。

無害化処理施設用地に隣接する民間事業者に対しては、当該用地に向かうためには当該事業者の構内を通らざるを得なかったため、技術的に可能かどうかを確認、検討する必要があったことから、事前に打ち合わせをしました。環境省からお願いした書類の内容については紹介できると思います。

：自衛隊駐屯地、もしくは現在保管している場所で処理できないのか。

自衛隊駐屯地は自衛隊の機能を損ねないようにしなければならず、無害化処理施設の設置候補地とす

ることは難しい状況にあります。また、現在保管している場所では、火薬類取締法を満足できないので、設置は難しいです。

:もしここに持ってくるのは絶対嫌だと言ったらどうするのか。ほかの場所を改めて探してくれるのか。我々としては住民のご理解、ご協力を求めながら進めていきたいと思っております。引き続き、できる限りご理解、ご協力をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくをお願いします。

:無害化処理施設設置用地として示されている千葉県所有地の面積はどのくらいあるのか。その面積のなかで処理施設はどのくらいの面積を必要とするのか。施設を建ててから一般の生活圏までどのくらい距離があるか。安全を管理してできるということだが、液体が気体になったときに、最悪の場合、どのくらいの被害距離（危険な場所）になるか。

本日の写真図において、千葉県所有地の黄色で囲った部分のなかに無害化処理施設の設置を予定しており、その面積は $50\text{m} \times 150\text{m} = 7,500\text{m}^2$ 程度となります。国道 357 号線から千葉県所有地までは 5 km 程度です。

砲弾から漏れ出した液体の化学剤が気化した場合ですが、厳密な試算はまだしていませんが、砲弾を発掘・回収したときの試算から申し上げますと、無害化処理施設設置用地の $50\text{m} \times 150\text{m}$ より外には、急性影響が生じるような濃度にはならないと考えています。

:化学弾に信管がないとのことだが当時日本軍がどういう状態で廃棄したのか。また、処理にどのくらいの税金を使うのか。

証言情報によれば、信管を外して沼地に打ち込んで廃棄したとのこと。予算については、最終的には入札の額によりますが、設備投資と安全性を確保するためにも数十億円ぐらいかかると考えています。

:毒ガス弾の輸送方法と輸送経路がわかれば教えてください。

輸送経路についてはまだ決まっておりませんが、安全対策上、公表することができないと考えております。また、万一交通事故が起こっても問題が発生しないような輸送方法で、安全に輸送したいと考えています。

:苅田港は参考になる例だと思うが、一日何発処理しているのか。安全性の問題はどのように処理しているのか。国外のベルギーなどの事例や中国の例も参考にしているのか。

他の処理事例について、いま何発処理している等といった細かいデータは持ち合わせておりませんが、頂いたご意見を踏まえ、次回以降にはどのような技術的要件に基づいて処理を行おうとしているのかをご理解いただけるように説明したいと思います。

:住民に何にも聞かずに 4 月から着手するというのはおかしい。これは撤回してもらって、住民が納得したうえで入札をかけていただきたい。

入札という手続きを経ないと、技術的な説明がままならないということもあり、今後ともご説明の機

会、ご意見をお伺いする機会を設けていきたいと考えているので、切にご理解ご協力をお願いしたいと考えています。

:発見・回収された砲弾は171発と書いてあるが、よそで発見されたから処理をしてくれと潜り込ませてずるずると長引くということはないか。

今回の無害化処理は、平成23年度中に完了し、原状復旧します。ご指摘の171発は民間農場から発見・回収され、現在一時保管しているものです。平成19年に発見された4発や、また、今後、農場等で発見された場合には、年度内に処理を行う考えです。

:私は民間研究農場と同じ町内の自治会だが、農場内を十文字に走る道路を早く解放してほしい。また、数十億とこんなに金をかけて処理をしなければならないのか。もっと早く金をかけない方法で出来たのではないか。苅田港で処理しているのであれば、そこで処理すれば早いのではないか。

一刻も早く処理を進めていきたいと考えているので、民間研究農場付近の住民の方には引き続きご理解・ご協力をお願いします。苅田港については、国土交通省とも相談しましたが、色々な制限があってそこでは処理できないという結論になっております。

:千葉市に不信感を持っている。ゴルフの練習場も無断で建てた。蘇我の人はこんな処理があるなんて知らない人ばかりだと思う。もし本当にやるのであれば、私は反対運動を起こす。もし反対運動を起こしたら、環境省はどうするのか。

我々としても今回十分にご理解いただけたとは思っておりませんので、今後ともご理解いただけるように説明していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

以上の他に、砲弾の無害化処理の安全性や、砲弾を処理する際には火薬や電気雷管を巻く等一定の人手が介在することに対するリスクをどのように考えているのか説明してほしい、お金をかけないで取り組んでほしい、国として恒久的に化学砲弾の処理ができるような施設を作る考えはないのか、といったご意見・ご要望がございました。

(以上)